1747	95	題号不明	西本一都	1747	言語	打ちあげし花火の下に幾山河	2017	『昭和俳句作品年表（戦後篇）』	246	￥45	￥1	￥1	夏
1748	95	題号不明	西本一都	1748	言語	渡御の列青［あお］二［ふた］荒［あら］を出でにけり	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	328	￥45	￥1	￥1	夏
1749	95	題号不明	西本一都	1749	言語	大阪の埃なつかし夾竹桃	2008	『俳句歳時記　第四版』	411	￥45	￥1	￥1	夏
1750	95	題号不明	西本一都	1750	言語	山羊の仔のおどろきやすく草茂る	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	654	￥45	￥1	￥1	夏
1751	95	題号不明	西本一都	1751	言語	秋色の南部片富士樹海より	2008	『俳句歳時記　第四版』	496	￥46	￥1	￥1	秋
1752	95	題号不明	西本一都	1752	言語	犀川に還りゆくなる落し水	2022	『新版　角川俳句大歳時記　秋』	270	￥46	￥1	￥1	秋
1753	95	題号不明	西本一都	1753	言語	踊子にやはらかに足踏まれけり	2008	『俳句歳時記　第四版』	544	￥46	￥1	￥1	秋
1754	95	題号不明	西本一都	1754	言語	ずぶぬれの黍ずぶぬれの身に負へる	2008	『俳句歳時記　第四版』	641	￥46	￥1	￥1	秋
1755	95	題号不明	西本一都	1755	言語	城址とはゑのころ草の井戸一つ	2008	『俳句歳時記　第四版』	654	￥46	￥1	￥1	秋
1756	95	題号不明	西本一都	1756	言語	稜線も襞も女神や初浅間	2006	『角川俳句大歳時記　新年』	64	￥90	￥2	￥2	新年
1757	95	題号不明	西本一都	1757	言語	泣き初めの病妻なだめかねつあり	2006	『角川俳句大歳時記　新年』	297	￥90	￥2	￥2	新年
1758	95	題号不明	西本一都	1758	言語	賓頭盧廻しわが作らずば世に句なし	2006	『角川俳句大歳時記　新年』	407	￥90	￥2	￥2	新年
1759	96	題号不明	西野文代	1759	言語	曲水の宴にはべりて眉うすく	2006	『角川俳句大歳時記　春』	145	￥50	￥1	￥1	春
1760	96	題号不明	西野文代	1760	言語	洟かんでもらうて一夜官女たり	2006	『角川俳句大歳時記　春』	297	￥50	￥1	￥1	春
1761	96	題号不明	西野文代	1761	言語	からすゐてなんのふしぎぞ烏の巣	2006	『角川俳句大歳時記　春』	430	￥50	￥1	￥1	春
1762	96	題号不明	西野文代	1762	言語	蜷の道切れたところに蜷がゐる	2006	『角川俳句大歳時記　春』	455	￥50	￥1	￥1	春
1763	96	題号不明	西野文代	1763	言語	すずめのてつぱう搦手へ搦手へ	2006	『角川俳句大歳時記　春』	628	￥50	￥1	￥1	春
1764	96	題号不明	西野文代	1764	言語	泣き上戸あつかひかねて泥鰌鍋	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	198	￥45	￥1	￥1	夏
1765	96	題号不明	西野文代	1765	言語	蚊帳へ蚊をつれてくるなと言うた筈	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	219	￥45	￥1	￥1	夏
1766	96	題号不明	西野文代	1766	言語	うきくさや城あと城でありしころ	2008	『俳句歳時記　第四版』	475	￥45	￥1	￥1	夏
1767	96	題号不明	西野文代	1767	言語	いやおうもなくとしよりの日がくるぞ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	169	￥46	￥1	￥1	秋
1768	96	題号不明	西野文代	1768	言語	六斎の揃うてきたるあしのうら	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	346	￥46	￥1	￥1	秋
1769	96	題号不明	西野文代	1769	言語	かまきりの斧あらはれてから目玉	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	458	￥46	￥1	￥1	秋
1770	96	題号不明	西野文代	1770	言語	びんづるはんごめんやしてと煤箒	2007	「平成秀句選集」	244	￥43	￥1	￥1	冬
1771	96	題号不明	西野文代	1771	言語	この雨にふぐりおとしぞつかまつる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	215	￥43	￥1	￥1	冬
1772	96	題号不明	西野文代	1772	言語	雪沓の挟まつてゐる薬師の戸	2008	『俳句歳時記　第四版』	753	￥43	￥1	￥1	冬